

埼玉トヨペット Green Brave



GR 86/BRZ Race

2020 RACE REPORT

GAZOO Racing 86/BRZ Race

第5戦

2020年7月25日(土)・26日(日)

スポーツランドSUGO(宮城県村田町)

プロフェッショナルシリーズ

川合選手が2戦連続のデビューウィン!

SUPER GT 開幕戦で優勝を飾った吉田広樹選手と川合孝汰選手がプロシリーズに出場。エントリー台数は28台。ウェットで行われたプロシリーズの予選は開始早々に赤旗中断。アタックを行っていない吉田、川合両選手はピットロード出口でコース再開を待つ。約15分の中断の後、予選再開。両選手はすぐにアタックを開始し、川合選手が1分39秒697、吉田選手は1分39秒968をマーク。それぞれ予選2位、6位の好位置につけた。第1ヒートは13周。川合選手は順当なスタートをきり、トップを走る師匠、服部選手の背中を追う。序盤の2台のペースは互角だったが、5周を過ぎたあたりから服部選手のペースが落ち始める。2台は接近し、川合選手が7周目の1コーナーで服部選手のインを奪いトップに立つ。川合選手はコンマ9秒の安全マージンをキープして余裕のチェッカー。2週連続のデビューウィンに向け、好スタートをきった。予選6位からスタートした吉田選手は徐々にギアが入らなくなるトラブルを抱えペースダウン。なんとかレースを続けるが、11周目、コース脇にストップ。第1ヒートの結果は26位となり、第2ヒートに出走できることになったが、トラブルの原因はわかっておらず、スタッフによる懸命の原因究明と対策が行われた。

日曜日の天候は雨。サーキットは濃い霧に覆われており、さまざまなレースがキャンセルに。プロシリーズのスタート進行も遅れ、中止の可能性が高いと思われたが、コースイン時に霧が晴れ、セーフティカー(SC)先導によりレースはスタート。周回数は3周減り、10周となっている。6周にわたる先導走行の後、7周目からSC解除。川合選手は佐々木選手や服部選手の猛追を受けるが、冷静に守り切り、0.471秒差でチェッカー。両ヒート共に1位となり、文句なしのデビューウィンを飾った。一方、吉田選手のクルマは日曜日の午前中に修理を完了。ファステストラップを狙って最後尾からスタートしたが、1番時計は他の選手の手に。それでもわずか4周の間に3つ順位を上げる奮闘を見せ、23位でチェッカー。総合結果は26位となった。

#160 埼玉トヨペット GB 86 BS



吉田 広樹
総合結果：26位
予選：6位
(1分39秒968)
第1ヒート：26位
第2ヒート：23位

■第1ヒート

スタートはすごく良く、5位の選手のイン側に入ったのですが、コースのイン側に落ち、後続に抜かれてしまいました。その後、だんだん決まったギアが入らなくなり、うまくリカバリーできる時とできない時があり、だままだまし走っていました。最終的にはギアが入らないまま、登り坂だったので加速できず、後ろの選手の邪魔をしてしまい、迷惑をかけてしまいました。

■第2ヒート

練習までは良かったのですが、予選から流れを戻せないまま終わってしまいました。孝汰がああいう目立ち方をしたにもかかわらず、ぼくは非常に残念でした。メカニックが昨日のトラブルの原因をしっかりと探ってくれて、今日も完璧にやってくれました。そういう意味ではみなさんの気持ちにこたえたかったです。

#521 埼玉トヨペット GB 86



川合孝汰
総合結果：1位
予選：2位
(1分39秒697)
第1ヒート：1位
第2ヒート：1位

■第1ヒート

ものすごく緊張しました。師匠である服部さんがトップなので、どうしたらいいかわからないまま準備していたのですが、平沼さんが「一緒に謝りに行くのでドンと行ってこい」と言ってくれたので、気持ちの余裕ができました。序盤、ついていくのがやっとでしたが、服部さんのタイヤがたれてきたこともあり、1コーナーでなんとか前に出ることができ、優勝できました。

■第2ヒート

やるんだろうなと思ながらも、自分の中で準備できていたので問題なかったです。スタート前、落ち着いて自分のラインを守っていればまず抜かれることはないだろうと。周回数が減り、SCスタートになったので、昨日より余裕はあったのですが、バックストレートでシフトミスしてしまい並ばれてしまいました。あそこをちゃんと守れたのが優勝につながったと思います。

レクサス熊谷南・松原一貴

研修でレースを見たことはあるのですが、朝から晩までみっちり整備をして、万全の状態に臨むのは初めての経験です。緊張とワクワクがまざったような感じです。細かいところを調整したり、ごみを取り除いたり、注意を払うのは大変。チームや自分が整備したクルマがいい成績を残していると、またレースに來たいなと思いますね。

クラブマンシリーズ(オープン)

■ 86に乗るアマチュアドライバーが GB キャンプからデビュー ■

GB キャンプからクラブマンシリーズ (オープン) にフル参戦するのは榎村徳俊 (かしむらのりとし) 選手。レース未経験のアマチュアドライバーで、愛車 86 で走行会やジムカーナに参加している。GB キャンプに申し込んだきっかけは、仲間が SNS で GB キャンプを話題にしていたから。「この瞬間にやらなかったらやれないなと思いました」と榎村選手。榎村選手はレースの前の週にチームとともに現地テストを実施。初めての SUGO を走り込み、さらにウエット路面も経験し、本番に臨んだ。

予選は 10 時 35 分から行われ、路面はウエット。榎村選手は練習の成果を発揮し、終了 2 分前に 1 分 45 秒 973 をマーク。目標のトップ 20 に食い込む予選 19 位につけ、笑顔を見せた。第 1 ヒートは 13 周。ドライでレースは行われ、初めてのスタートで出遅れた榎村選手は 23 位でオープニングラップを終える。2 周目には 1 つ順位を下げ 24 位。複数のライバルと激しい接戦になっており、緊張感のあるレースが続いている。10 周目に 22 位、11 周目に 20 位まで順位を戻し、予選順位まであとひとつとなったところでチェッカー。レース終盤にベストタイムを更新する (1 分 45 秒 955) 力走を見せ、デビュー戦をしめくくった。翌日行われた第 2 ヒートは視界不良により SC 先導でスタート。しかし、3 周を走ったところで赤旗中断となり、レース終了となってしまった。榎村選手の総合結果は 20 位。第 1 ヒートのリベンジを誓っていただけに非常に残念な結果となったが、安全面を考えれば仕方ないこと。納得した表情の榎村選手の視線は、次戦の舞台、オートポリスを向いていた。

#522 GB CAMP 86



榎村徳俊
総合結果：20 位
 予選：19 位
 (1 分 45 秒 973)
 第 1 ヒート：20 位
 第 2 ヒート：20 位

■ 予選

練習走行が 22 位だったので、何とかそこより前に行きたいと思っていました。雨で 1 回練習しているの、アドバンテージを活かして少しでも前に行きたいなと。なんとか 19 位という結果が得られたので、今日はいけるかなと思って、少し夢を見ました。みんなからステアリングの切り方が遅いと言われ、そこはすごく意識しましたね。

■ 第 1 ヒート

シグナルを見ている間、まわりのエンジンの音が上がって「あれ」っと。左右を見ている間にまわりが出て、3 台に抜かれたことが順位を落とした原因です。練習走行と同じように自分で道をあけるといって運転をしてみました。初めてのレースで、走り方がわからなかった。でも、途中で気持ちを切り替え、絶対に後ろのクルマを前に行かせないと思い、最後までおさえきりました。

【次戦予告】 8 月 30 日 (日) オートポリス (大分県日田市)

PARTNERS



アイ・ディ・アイ



EMG ルブリカンツ合同会社



株式会社エヌ・ティ・コーポレーション



株式会社 FM NACK5



大宮クリーン社・大進カーエアコン



株式会社岡崎巧芸



株式会社カーグラス・JP



埼玉スリーボンド株式会社



埼玉トヨペット陸送株式会社



株式会社テレビ埼玉



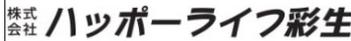
株式会社デンソーソリューション



株式会社ドーム



トヨタモビリティパーツ株式会社



株式会社ハッピーライフ彩生



富士ゼロックス埼玉株式会社



丸和工業株式会社



株式会社リビコー



レカロ